



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月30日

上場会社名 株式会社エンプラス 上場取引所 東
 コード番号 6961 U R L <https://www.enplas.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 大輔
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理部 部門長 (氏名) 安田 薫 T E L 03-6268-0259
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	32,374	12.4	5,200	27.3	5,378	24.8	3,876	35.0
2025年3月期第3四半期	28,805	3.0	4,084	14.9	4,310	11.3	2,872	25.8

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 5,391百万円 (28.9%) 2025年3月期第3四半期 4,183百万円 (21.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	437.05	432.40
2025年3月期第3四半期	325.21	320.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	67,460	60,575	89.5	6,716.64
2025年3月期	62,775	56,216	88.0	6,255.78

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 60,343百万円 2025年3月期 55,270百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 —	円 銭 40.00	円 銭 70.00
2026年3月期	円 銭 —	円 銭 45.00	円 銭 —		
2026年3月期(予想)				45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,500	11.6	6,300	19.1	6,500	19.3	4,700	19.2	523.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想につきましては、本日（2026年1月30日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ： 無 |
| ④ 修正再表示 | ： 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	9,732,897株	2025年3月期	9,732,897株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	748,648株	2025年3月期	897,833株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	8,869,476株	2025年3月期 3Q	8,832,460株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2026年1月30日(金)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中国経済の停滞や米国の通商政策の影響はみられるものの、A I需要の拡大に伴う生産や設備投資の増加を背景に、緩やかに回復しております。

米国においては、A I関連需要の拡大を受けた設備投資の増加や関連企業の堅調な業績を背景とした個人消費が下支えとなり、景気は底堅く推移しております。

中国においては、個人消費や不動産市況の低迷、対中直接投資の減少による景気減速が継続しております。

わが国経済は、米国の関税引き上げに伴う米国向け輸出の停滞が底を打ちつつある中、企業の設備投資の堅調さや雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復が継続しております。

このような状況の中、当社グループが関連する市場においては、世界経済の減速や半導体需要の調整の長期化など、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

当社グループは持続的な成長の実現のために、成長市場であり人と地球のQ O L（クオリティ・オブ・ライフ）を高める領域をEssential領域と定め、この領域への事業ポートフォリオの転換を進めてまいります。また当社グループの独創的アイデアと総合技術により、最終顧客まで見据えた課題解決を実現し、多様化する顧客ニーズに対して新たな価値を提供してまいります。さらに不連続な変化が続く時代において、持続的な成長を実現するために当社グループの重要な経営基盤である人材への投資を積極的に進めてまいります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は32,374百万円（前年同期比12.4%増）となり、営業利益は5,200百万円（前年同期比27.3%増）、経常利益は5,378百万円（前年同期比24.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,876百万円（前年同期比35.0%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

「Semiconductor事業」

各種I Cテスト用ソケット、バーンインソケットは、サーバー用途および自動車用途の需要が大幅に増加し、売上高は好調に推移しました。当社が注力しているサーバーや自動車用途の需要は中期的には増加傾向が続くと予想され、特にA I用サーバー向けソケットは大手G P Uメーカーに加えて、ハイパースケーラー向けのA S I C関連が増加する見通しです。さらに競争力を高めるためのソリューション開発を積極的に進めており、また将来の成長に向けたテスト用ソケットの技術開発にも注力してまいります。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は17,851百万円（前年同期比48.9%増）、セグメント営業利益は4,159百万円（前年同期比274.9%増）となりました。

「Life Science事業」

遺伝子検査用製品は、一部量産品の生産終了に伴う一時的な販売増加により売上高は好調に推移しました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,882百万円（前年同期比36.7%増）、セグメント営業利益は485百万円（前年同期比282.1%増）となりました。

「Digital Communication事業」

光通信関連の光学デバイスは、A I用途等のハイエンド領域における次世代製品の量産は開始したもの、量産タイミングの遅延やレンズコネクタ関連の新規製品の立ち上げ遅れにより、売上高は低調に推移しました。今後の通信の高速化と市場拡大に向けた次世代製品の開発を進めております。L E D用拡散レンズは、液晶テレビ市場の需要減少が継続し、売上高は低調に推移しました。今後も新たな視点でディスプレイ市場へのイノベーションを起こすために、マーケティングを強化してまいります。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,170百万円（前年同期比71.5%減）、セグメント営業損失は161百万円（前年同期は2,221百万円の営業利益）となりました。

「Energy Saving Solution事業」

自動車用部品は、自動車市場が好調に推移する中で当社が注力する低騒音・高効率ギヤソリューションビジネスの拡販により売上高は堅調に推移しました。一方、プリンター用部品は需要の反動減により売上高は低調に推移しました。今後も当社が注力する自動車の電装化に対応したギヤソリューションビジネスを推進するとともに、新領域における新商材の開発に取り組んでまいります。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,469百万円（前年同期比1.2%減）、セグメント営業利益は718百万円（前年同期比14.8%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は67,460百万円となり、前連結会計年度末比4,685百万円の増加となりました。

流動資産につきましては277百万円減少しました。主な変動要因は受取手形及び売掛金で1,253百万円、原材料及び貯蔵品で649百万円増加したものの、現金及び預金で2,349百万円減少したことによるものです。

固定資産につきましては4,962百万円増加しました。主な変動要因は有形固定資産で3,762百万円増加したことによるものです。

負債は6,885百万円となり、前連結会計年度末比326百万円の増加となりました。

流動負債につきましては396百万円増加しました。主な変動要因は未払金で233百万円減少したものの、未払法人税等で347百万円、買掛金で332百万円増加したことによるものです。

固定負債につきましては70百万円減少しました。主な変動要因は繰延税金負債で71百万円増加したものの、リース債務で129百万円減少したことによるものです。

純資産は60,575百万円となり、前連結会計年度末比4,359百万円の増加となりました。主な変動要因は利益剰余金で3,123百万円、為替換算調整勘定で1,273百万円増加したことによるものです。

その結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は89.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年10月27日に公表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2026年1月30日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	24,050	21,701
受取手形及び売掛金	8,807	10,060
製品	1,266	1,071
仕掛品	782	679
原材料及び貯蔵品	2,015	2,665
未取消費税等	815	909
未収還付法人税等	158	328
その他	809	1,019
貸倒引当金	△11	△15
流动資産合計	38,695	38,418
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,904	4,140
機械装置及び運搬具（純額）	2,833	2,491
工具、器具及び備品（純額）	1,266	1,224
土地	6,871	6,885
使用権資産（純額）	1,396	1,222
建設仮勘定	5,180	9,250
有形固定資産合計	21,453	25,215
無形固定資産		
ソフトウエア	152	275
その他	546	1,444
無形固定資産合計	698	1,720
投資その他の資産	1,927	2,106
固定資産合計	24,079	29,042
資産合計	62,775	67,460

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,344	1,676
リース債務	354	308
未払金	1,039	806
未払費用	619	599
未払法人税等	458	806
契約負債	152	170
賞与引当金	744	560
転貸損失引当金	28	15
役員賞与引当金	118	65
その他	306	555
流動負債合計	5,168	5,564
固定負債		
リース債務	1,084	954
退職給付に係る負債	112	121
繰延税金負債	35	106
転貸損失引当金	7	—
その他	151	137
固定負債合計	1,390	1,320
負債合計	6,559	6,885
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,080	8,080
資本剰余金	2,042	1,999
利益剰余金	42,510	45,634
自己株式	△3,233	△2,696
株主資本合計	49,399	53,017
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	410	593
為替換算調整勘定	5,460	6,733
その他の包括利益累計額合計	5,870	7,326
新株予約権	179	88
非支配株主持分	766	142
純資産合計	56,216	60,575
負債純資産合計	62,775	67,460

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	28,805	32,374
売上原価	15,505	17,575
売上総利益	13,300	14,798
販売費及び一般管理費	9,216	9,598
営業利益	4,084	5,200
営業外収益		
受取利息	334	144
受取配当金	20	24
為替差益	—	40
スクラップ売却益	63	53
その他	24	32
営業外収益合計	442	295
営業外費用		
支払利息	59	52
支払補償費	15	—
為替差損	121	—
その他	19	65
営業外費用合計	216	118
経常利益	4,310	5,378
特別利益		
固定資産売却益	21	15
投資有価証券売却益	2	—
新株予約権戻入益	—	1
受取補償金	44	—
その他	1	—
特別利益合計	70	16
特別損失		
固定資産売却損	17	1
事業再構築費用	233	185
特別損失合計	250	186
税金等調整前四半期純利益	4,130	5,208
法人税、住民税及び事業税	1,076	1,275
法人税等調整額	103	11
法人税等合計	1,180	1,287
四半期純利益	2,949	3,921
非支配株主に帰属する四半期純利益	77	44
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,872	3,876

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,949	3,921
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	97	183
為替換算調整勘定	1,135	1,286
その他の包括利益合計	1,233	1,469
四半期包括利益	4,183	5,391
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,089	5,332
非支配株主に係る四半期包括利益	93	58

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	Semiconductor 事業	Life Science 事業	Digital Communication 事業	Energy Saving Solution 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	11,986	2,109	4,109	10,599	28,805
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,986	2,109	4,109	10,599	28,805
セグメント利益	1,109	126	2,221	625	4,084

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書上の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	Semiconductor 事業	Life Science 事業	Digital Communication 事業	Energy Saving Solution 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	17,851	2,882	1,170	10,469	32,374
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,851	2,882	1,170	10,469	32,374
セグメント利益又は損失 (△)	4,159	485	△161	718	5,200

(注)セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書上の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間
(自 2024年4月1日
至 2024年12月31日)当第3四半期連結累計期間
(自 2025年4月1日
至 2025年12月31日)

減価償却費

1,793百万円

1,735百万円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。